

平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「看護師等の国家試験に求められる実践能力を評価するための問題構造と課題」
に関する研究

研究者

東京医療保健大学医療保健学部看護学科

宮本千津子

研究概要

多項目選択式筆記試験である保健師助産師看護師国家試験において、基礎教育で培われた実践能力を評価するあり方とその課題を明らかにし問題の構造に関する提言を得ることを目的とし、過去問題の分析、および国家試験作成経験をもつ有識者へのヒアリング調査を行った。その結果、基礎的知識に個別な状況を適用させ判断するという実践能力を問うことができていること、一方で部分的に問えていない問題もあり、これには生活を重視し全人的なアセスメントを行うために多様な情報を総合的に判断して焦点化していくという判断のプロセスが問いにくいこと、根拠となる知識の正確さと周知状況が適切でかつ国家試験としての資格試験に適切な難易度についての検討、すなわち確かな知識が必要とされ解答を悩むような魅力的な選択肢を準備しようとする事等が影響していると推測された。

そのため、これらの影響を考慮して実践能力を問おうとする際の方法として、看護に求められる実践の場における判断プロセスを問う工夫を行うこと、原則として用いる知識の新しさについて検討すること、主題を明確にし、主として知識を問うのか判断を問うのかを明確にすること、新卒者の現状に関する臨地の意見を取り入れること、等の必要性が考察された。